

一般財団法人ちばのWA地域づくり基金は 4月1日から「公益財団法人」になります



ちばのWA地域づくり基金

昨年5月に一般財団法人として設立したちばのWA地域づくり基金は、千葉県公益認定等審議会より公益認定をいただき、2013年4月1日より「公益財団法人ちばのWA地域づくり基金」として新しいスタートを切ることとなりました。今後は公益法人の税制優遇(寄付控除/損金算入)を活用し、多くの皆様の思いを「寄付金」の形で地域へ届ける事業を本格的に展開していきます。

寄付豆知識

公益社団法人・公益財団法人・認定NPO法人などへ寄付する場合のメリット

公益社団法人・公益財団法人・認定NPO法人といった、地域で活動する公益活動団体への寄付は、税制優遇の対象になります。「地域を支える活動」への寄付がしやすくなります！

●個人が寄付する場合⇒1年間で寄付した金額の合計額をもとに、所得税と住民税の控除が受けられます。最大で寄付額の約50%が戻ってきます！
(納税額やお住まいの市町村によって異なります)

●企業など法人が寄付する場合⇒一般の寄付金に係る損金算入限度額にプラスして損金算入の特別枠が適用されます！

●相続税⇒相続税の課税対象外になります！

NPOなどの団体にとってのメリット

認定NPO法人以外の団体でも当財団が設置する助成プログラムを利用することで、寄付する人にとっては寄付金控除が受けられます。認定を取得していないNPO法人や任意団体はぜひご活用ください。
(助成プログラム申請にあたっては一定の条件が必要となりますので、事前にお問い合わせください)

ほかにもメリットが！

1. 寄付集めの計画や戦略づくりに関するサポート、コンサルティングを行います。
2. 事業内容や課題、寄付の必要性を伝えるための情報発信支援、チラシや当財団HP内に専用ページを作成し、寄付につなげます。
3. 専用銀行口座やWeb上でのクレジットカード決済機能など、寄付をしやすいツールを提供します。
4. チャリティプログラムなどを実施し、新たな層にアプローチしていきます。

新年度、事業指定プログラム第1期の助成先募集が始まります。

個々の団体では成し得ないことも、大きな動きとして社会に発信していくことが、豊かな地域社会を実現するための新しい資金の流れを作ることにつながります。新着情報は、ちばのWA地域づくり基金のホームページでご確認ください。

URL <http://chibanowafund.org/>

お問い合わせは事務局まで。TEL:043-270-4640 E-mail:info@chibanowafund.org

スタッフのひとこと

この冬は寒いと思っているうちに、もう3月。新しいスタートの春。NPOクラブも、四街道のセンターも、財団も。そして、私も。あなたも？(勝)

編集・発行 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (NPOクラブ)
〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 ■Tel 043-303-1688 ■Fax 043-303-1689 ■E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
■URL <http://www2.odn.ne.jp/npo-club> ■会員:51 団体・個人 90人

News Letter



Vol.47 2013.03

特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)



あなたの団体は大丈夫？ 他人事じゃない?!「ずさんな会計管理」

NPO法人の相談に対応していると、本来の事業に追われて会計管理がおろそかになり、所轄庁に提出する「事業報告書」の会計関連書類に間違いのある団体が見られます。

NPO法人の事業報告書は、その団体がどのような活動をしているのかを表す、市民からの評価を得るための大切なツールです。また、団体のお金は会員や支援者から預かった大切なものなので、正しく管理し、正しく報告する必要があります。

市民の信頼を得るために…NPO法人の会計管理、しっかり見直そう!

「会計帳簿は現金出納帳だけ」「決算書を作るのは年度末だけ」になっていませんか？

帳簿は経費ごとの元帳を作り、定期的に(できれば毎月)試算表や月次決算を作って、金銭管理が間違いなく行われているか点検しましょう。そうすることで、会計の面からも団体の活動状況が見えてきます。

それでも忙しすぎる理事長が、会計管理まで一人で行っていませんか？

会計の担当者をおきましょう。「ちょっとした会計管理ならできる」という人が団体の周囲に居るかもしれません。「会計ボランティア募集」を試してみてください。

理事やボランティアへの謝礼や手当を、年度末にまとめて出したりしていませんか？

年度終了間近にまとめて人件費や手当を支払うことは、剰余の分配とみなされかねません。日頃からきちんと管理していれば、こうしたことは避けられるはずです。

平成24年度千葉県県民活動促進事業「県民活動基盤強化事業」では、会計・税務・労務・法人運営などNPOからの相談事例をまとめた『市民活動Q&A集』(A5判冊子・100P)を作成しました。「公益ポータルサイトちばのWA!」(<http://chibanowa.canpan.info/>)よりダウンロードできます。

また、冊子が必要な方は下記までお問い合わせください。

千葉県環境生活部県民交流・文化課 TEL 043-223-4133 FAX 043-221-5858

社員を育て、やる気を引き出すプロボノとは？

ちばコラボ2013

本業に活きる社会貢献活動

プロボノで企業人のスキルとNPOの専門性を重ねよう！

【プロボノ】ラテン語の“pro bono publico”（公共善のために）の略。社会人が仕事上の専門知識や技術、経験を提供して社会貢献するボランティア活動。



株式会社ソーシャルプランニング代表取締役 竹井善昭さん

竹井善昭さんプロフィール

株式会社ソーシャルプランニング代表取締役、東北復興支援プロジェクト「Tohoku Rising」代表理事、ソーシャルビジネス・プランナー。マーケティング・プランナーとして、多数の企業の商品開発、業態開発に関わる。近年は社会貢献に特化し、CSRコンサルティング、ソーシャル・ビジネス・コンサルティングを行う。著書に『社会貢献でメシを食う。』（ダイヤモンド社刊）、連載にダイヤモンド・オンライン『社会貢献を買う人たち』等多数。

日本では“NPO30歳定年説”があるほどで、NPOで働いて暮らしていくのは難しい状況ですが、欧米でNPOといえば優秀な人材が集まっていく成長分野です。

アメリカのNPOで働くファンドレイザーは平均年収800万円、社会貢献でメシが食べているのです。

社会貢献でメシが食えるということは、社会問題解決のプロが増えていくことであり、社会全体が成長するという点でもあります。企業の側も社会貢献によって新しい価値を提供し、更なる利益を得ていくことができます。

成果主義、競争主義ではうつ病になる人が増えるだけ。「日本の従業員の働く意欲は世界最低」というアメリカの調査会社の調査結果にあらわれているように、企業の価値と従業員の価値がかみ合っていない状況です。



これからの企業は、従業員が「自分の会社は世の中の役に立っている」と思える、働くモチベーションが上がる企業でありたい。

単なる慈善や本業の付録ではない社会貢献、「儲かるCSR」「本業と統合したCSR」の時代になりました。

「プロボノ」とは、プロのビジネス・スキルを社会問題の解決に役立てることを指します。

いま、比較的若い社員（20代～40代）が関心を持っています。

なぜか？ カッコいい大人になりたいからです。「プロの技で解決してやるぞ」「会社の外に出て学びたい」「ムーブメントを起こすのはカッコいい」という気持ちがあるのです。

若者の価値観は確実に変わっています。社会貢献につながるモノやコトにお金を使いたい。「カンボジアに学校建てない？」というメールを見て「カッコいい！」と感じる人たちが現れてきた。

「役立つ感」があることが大事なんです。

NPOが「プロボノ」を獲得したいのであれば、ターゲットとする人材を明確にして、「うちの団体は、こういう問題を解決するために、こういう人に来てほしい！」と発信し続けることが必要です。

企業人が仕事のスキルや経験を活かしてボランティアをする「プロボノ」の取り組みが全国的に広がっています。

社員のやる気を引き出し、自社の業績アップや地域の活性化を進めるために有効な「プロボノ」とは何でしょうか？ 2月16日に千葉市で開催した「ちばコラボ2013」では、『社会貢献でメシを食う。』の著者、竹井善昭さんの講演を聞き、参加者で意見を交換しあいました。

プロボノ、 ここが聞きたい！

NPOが求める人材の情報が
わかりにくい！

「どんな人が欲しいのか」
発信しなすぎる。
条件を明確に提示して、
発信し続けること。

プロボノしたい人にNPOの
情報が届いていない？！

個々のNPOが情報発信する
とともに、中間支援団体を通じた
情報提供を広げよう。

マッチングのポイントは？

積極的に働きかける、
断られても断られても
頼むことに尽きる。
Ask again!

参加者の声

- 社会貢献の意識の高い方々との交流が持て良かったです。これを機会に積極的に活動していきたい。
- 若い人たちが社会貢献について真剣に考えていることがうかがわれ、日本も（千葉県も）捨てたものではないと心強く思った。
- 活動に対するモチベーションが上がりました。定期的に講演会と交流会を開催してほしい。



☆今後、NPOクラブでは千葉県内にプロボノの仕組みを取り入れていく予定です。

多様な属性の人たちが集い、意見を交わす場を設定していきます。

関心のある方はNPOクラブまでお問い合わせください。